

学習指導要領		都立狛江高校 学カスタンダード
<p>(1) 様々な地理的技能的</p>	<p>地球儀や様々な地図の活用及び地域調査などの活動を通して、地図の有効性に気付かせるとともに、地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>ア 地理情報と地図</p> <p>地球儀の活用、様々な時代や種類の世界地図の読図、地理情報の地図化などの活動を通して、各時代の人々の世界観をとらえさせるとともに地図の有用性に気付かせ、現代世界の地理的事象をとらえる地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>イ 地図の活用と地域調査</p> <p>25000分の1の地形図など、直接的に調査できる地域の地図を活用して多面的・多角的に調査し、生活圏の地域的特色をとらえる地理的技能を身に付けさせる。</p>	<p>様々な種類の地図の活用や地理情報の地図化などの学習活動を通じて現代世界の地理的事象をとらえるための技能を身につける。</p> <p>時差の計算について、理解を深める。</p> <p>地球の運行と季節との関係について、理科的な知識を深めながら理解させる。</p> <p>絶対値や相対値を地図化した様々な主題図の分析を通じて、地図上での表現方法について学ぶ。</p> <p>地図に関する技能を使って、調べたことをまとめたり、発表したりする手法を身につける。</p> <p>G I Sをはじめとする地理情報について、基本的な知識を身につける。</p> <p>地形図を用いて身近な地域の地理的事象について調べる。地図記号を把握し、等高線の読み取りについて理解する。</p> <p>身近な地域の地理的特徴をとらえることによって、地理的見方・考え方を学ぶ。</p>

学習指導要領		都立狛江高校 学カスタンダード
<p>(2) 現代世界の系統地理的考察</p>	<p>世界の自然環境、資源、産業、人口、都市・村落、生活文化、民族・宗教に関する諸事象の空間的な規則性、傾向性やそれらの要因などを系統地理的に考察させるとともに、現代世界の諸課題について地球的視野から理解させる。</p> <p>ア 自然環境</p> <p>世界の地形、気候、植生などに関する諸事象を取り上げ、それらの分布や人間生活などのかかわりなどについて考察させるとともに、現代世界の環境問題を大観させる。</p> <p>イ 資源、産業</p> <p>世界の資源・エネルギーや農業、工業、流通、消費などに関する諸事象を取り上げ、それらの分布や動向などについて考察させるとともに、現代世界の資源・エネルギー、食料問題を大観させる。</p> <p>ウ 人口、都市・村落</p> <p>世界の人口、都市・村落に関する諸事象を取り上げ、それらの分布や動向などについて考察させるとともに、現代世界の人口、居住・都市問題を大観させる。</p> <p>エ 生活文化、民族・宗教</p> <p>世界の生活文化、民族・宗教に関する諸事象を取り上げ、それらの分布や民族と国家の関係などについて考察させるとともに、現代世界の民族、領土問題を大観させる。</p>	<p>現代世界の地理的な諸課題を自然環境の学習を通じて考察できる。世界の大地形を概観し、新期造山帯、古期造山帯、安定陸塊に分け、それぞれの地域的分布状況や全体像をつかむ。</p> <p>地殻変動と自然災害の関連性について学ぶ。大地形と資源との関連性について学び、世界の資源・エネルギー問題について考察できる。</p> <p>スマトラ沖地震や東日本大震災など、具体的な災害について取り上げ、地殻変動との関連性について学ぶ。様々な小地形が人間の生活や産業などに及ぼしている影響を理解する。</p> <p>気候を構成している気温などの気候要素や気候因子を広くとらえる。ケッペンの気候区分に基づいて、様々な気候区の特徴やそこでの人々の暮らしについて理解する。</p> <p>主な農産物の原産地を学習し、自然環境との関連性について理解する。</p> <p>世界の農業の諸形態について理解し、人々の暮らしとの関連性について考察する。主な農産物の主要生産国や輸出・輸入について理解する。</p> <p>世界の資源エネルギー問題について、様々な資料を読み取ることによって理解する。</p> <p>先進国と発展途上国の人口問題について、様々な資料をもとに理解する。</p> <p>日本の人口問題の本質について理解する。</p> <p>少子高齢化のもたらす社会問題について学ぶ。</p> <p>世界の宗教問題や民族問題について、時事的国際問題などをふまえながら理解する。</p> <p>パレスチナ問題や南スーダンの問題など、現代社会で実際に起こっている様々な問題について、新聞などの資料を用いて学習する。</p>

学習指導要領		都立狛江高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代世界の諸地域を多面的・多角的に考察し、各地域の多様な特色や課題を理解させるとともに、現代世界を地誌的に考察する方法を身に付けさせる。</p> <p>ア 現代世界の地域区分 現代世界を幾つかの地域に区分する方法や地域の疑念、地域区分の意義を理解させるとともに、その有用性に気付かせる。</p> <p>イ 現代世界の諸地域 現代世界の諸地域を取り上げ、歴史的背景を踏まえて多面的・多角的に地域の変容や構造を考察し、それらの地域にみられる地域的特色や地球的課題について理解させるとともに、地誌的に考察する方法を身に付けさせる。</p> <p>ウ 現代世界と日本 現代世界における日本の国土の特色について、多面的・多角的に考察し、我が国が抱える地理的な諸課題を探究する活動を通して、その解決の方向性や将来の国土の在り方などについて展望させる。</p>	<p>地誌的な学習を通じて、産業や民族、現代の諸課題について総合的に理解する。</p> <p>世界の国々について、先進国と発展途上国という区分だけでなく、様々な分類の仕方があることを理解する。現代世界を理解する際に必要な歴史的知識について、具体的な紛争などに触れながら理解する。</p> <p>いくつかの国を取り上げ、地誌的なアプローチについて学ぶ。</p> <p>国際社会の中におけるわが国の立場や役割について、経済的な面や政治的な面等について、どのような可能性があるか考察する。</p>	

